

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 6 月 15 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2026 年 6 月 22 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	ヨーク・セント・ジョン大学(日本語名) York St. John University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	1, 2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～1 月 2 学期: 2 月上旬～5 月 3 学期: 4 学期:
学生数	13,853 人
創立年	1841 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ポンド) (1 現地通貨 = 約 210 円)	B 日本円	備考
授業料		円	明治大学の授業料
宿舍費		約 1,000,000 円	
食費		約 350,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		25,000 円	
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		約 1,000,000 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		150,000 円	形態:
渡航旅費		約 350,000 円	
ビザ申請費		100,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	円	
総計(A+B) ※円	約 3,000,000 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

※ 数字は半角で入力してください。例) 520,000

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：ヒースロー空港 経由地：

復路 出発地：ヒースロー空港 目的地：羽田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：JAL

料金：約 25 万

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：

料金：

復路 航空会社：

料金：

∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：JAL)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：The Grange)

☐ アパート

☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学から割り振られる(変更希望しない限り寮は変えられない)

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私はバスやトイレが共有でもあまり気にならない方だったので、比較的快適に過ごせた。フラットメイトと共有部分の使い方やルールをしっかりと決めるかどうかは寮によって異なる印象があった。The Grange は部屋が比較的寒かったので室内でも着れる上着やマフラー等を持っていくのがおすすめ

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 家族)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省に滞在国の在外届を出すこと、旅行先の旅レジに登録することで情報収集をした。貴重品は適切に保管していたので犯罪等には巻き込まれなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮: 寮専用の Wi-Fi

大学: 大学の Wi-Fi

街: 基本 Wi-Fi は使わなかったため電波が悪いときがあった

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本からクレジットカード二つとデビットカードを一つ持って行った

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本食が好きな人は持っていくのが良いと思う(お味噌汁やお米など)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☒ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 一学期 60Credit まで	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Responsible Business	責任ある企業活動
科目設置学部・研究科	
履修期間	一学期
単位数	20Credit
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture & Seminar(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 と 120 分が 1 回
担当教授	Charlie Croft and David Kelsey
授業内容	企業の責任ある行動について
試験・課題等	Essay と Group presentation
感想を自由記入	私にとってはビジネスや経営について学ぶのが初めてだったので面白かった

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Equality and Sustainability of Economic Environment		経済環境の平等と持続可能性	
科目設置学部・研究科			
履修期間	一学期		
単位数	20Credit		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	Lecture & Seminar(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 と 120 分が 1 回		
担当教授	David Mckenna		
授業内容	社会問題を経済面から分析する		
試験・課題等	Essay と Policy report		
感想を自由記入	経済学を発展させてデータや文書を読み解くことが多かったので経済専攻の人におすすめ、二つ目の課題の Policy report では自分の興味のある国の社会問題について学びを深めることができた		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Industrial Economics		産業経済学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	一学期		
単位数	20Credit		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	Lecture & Seminar(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 と 120 分が 1 回		
担当教授	David Atkinson		
授業内容	産業経済学について		
試験・課題等	Sector strategy report と Video presentation		
感想を自由記入	課題では AI を用いて産業を分析、政策提案をする必要があり少し他の教科と比べ時間がかかったが、良い評価を取ることができた		

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Security	国際安全保障
科目設置学部・研究科	
履修期間	二学期
単位数	20Credit
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture & Seminar(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 と 90 分が 1 回
担当教授	Samuel Jarvis
授業内容	国際的な安全保障の在り方について
試験・課題等	Essay と Policy brief
感想を自由記入	初めて政治の授業を受けたが毎回のテーマに関するディスカッションで理解が深まり、学ぶことの多い授業だった

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Sustainable Development and the Global South	持続可能な発展とグローバルサウス
科目設置学部・研究科	
履修期間	二学期
単位数	20Credit
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture & Seminar(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 と 90 分が 1 回
担当教授	Ayla Gol
授業内容	国際的な社会問題に対する取り組み
試験・課題等	Essay x2
感想を自由記入	私が個人的に社会問題に対して興味があったので Lecture も Seminar も意欲的に楽しく取り組めた

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Area Studies		地域研究	
科目設置学部・研究科			
履修期間	二学期		
単位数	20Credit		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	Lecture & Seminar(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 60 と 120 分が 1 回		
担当教授	Ayla Gol		
授業内容	ユーラシア地域について		
試験・課題等	Essay x2		
感想を自由記入	2 年生の授業で少しレベルが高いという印象だったが、予習復習をすることでついていくことができた		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	TOEFL & IELTS 勉強
	10 月 ～ 12 月	TOEFL & IELTS 受験、留学出願、面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請・取得、航空券購入
	8 月 ～ 9 月	一学期開始
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	二学期開始
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

まず私が留学を決意した理由は、幼少期に住んでいたヨーロッパの国にもう一度訪れたい、海外で一人暮らしをしたい、様々な国に旅行に行って文化に触れたい、自分の専攻である経済学を他国の視点から学びたい、等様々ありました。

しかし、大学入学当初は留学に全く興味がなく、最終的に留学に行くための英語学習を始めたのは大学一年生の9月頃でした。英語の授業が一緒だった友達の「留学に興味がある」という一言がきっかけで、自分も大学在学中に海外に行くことができれば…と考えるようになりました。もともと海外や英語に興味があったことやヨーロッパにもう一度行きたいという思いがあったこと、さらには英語力をブリティッシュ英語で伸ばしたいという思いを持つようになり、イギリスへの留学を決めました。そこから書類やスコア提出までの約1か月間、英語試験のスコアをクリアするため朝から晩まで必死に英語の勉強をしました。

具体的に私が行った英語学習は、日常的にはBBCニュースを毎日通学中に聞く・BBCニュースの記事を毎日2、3個読み速読力を付ける・スマホの設定を英語に変えて日本語をシャットダウンする等です。TOEFLとIELTSのための勉強としては、短期集中で、試験が週末にあるときは平日は毎日過去問を一周解くとともに、単語にも触れるようにしていました。私は毎日夜の9、10時ごろまで図書館に行き英語漬けの日々を約1か月間送っていたので、できれば早めに留学に行くという目標を立ててコツコツ勉強することをおすすめします。

書類やスコアの提出に加えて、面接もあると思いますが面接では「自分がなぜその国のその大学に行きたいか」をいかに熱量を持って伝えることができるかが大切だと思います。私の場合はイギリスの大学が限られていたため、大学選びにあまり時間はかかりませんでしたが、志望大学について明確に理由と目的を定めて勉強することや面接に臨むことが自分の理想の留学生生活を叶えるための第一歩ではないかと思いました。

実際にイギリスの大学に留学をし始めた頃は、私にとって初めて英語で大学の授業を受ける経験だったので少し戸惑いも感じました。しかし、この1年間の授業で英語力をネイティブレベルまで伸ばしたいという目標があり(ここでの生活を逃したらもう英語力が伸びないのではないかと考えていました)、自分自身で毎回の授業の予習復習・Readingを欠かさず行い、なるべく授業内でも発言をするよう心掛けました。自分にとってはすごくチャレンジで緊張する機会もありましたが、それを乗り越えたことで、日本から来た他の留学生に英語について努力している姿がすごいと言われていたり、ブリティッシュの友達に発音がすごく上手と褒めてもらえたり、特にスピーキング力が向上したと実感することができました。YouTubeでのシャドーイング練習や英語日記も毎日継続していました。

生活面でも特に不自由はなく(私が日本食が恋しいとあまり思わなかった節もありますが…)、自炊、家事、掃除、洗濯、買い物等も勉強の息抜きとして楽しみながらすることができました。また4、5人で一緒にフラットで共同生活することも、人によっては負担を感じる場合もあると思いますが、私は自分の部屋での時間を大切に有意義に過ごすことができました。

留学生活においてももちろん日々の勉強はありますが、全休が平日に2日間ほど、冬休みと春休みも3週間ほどあったので、旅行にも沢山行くことができました。私の住んでいた街ヨークがイギリスのほぼ真ん中に位置しており、イギリス内における移動の融通が利いたので、国内旅行を何回かしたことが特に思い出に残っています。地域によって全く異なる文化や人々に触れることができてとても貴重な時間でした。

授業の課題や旅行に加えて、自分のフリーな時間を趣味に充てたり英語学習の時間に充てたりしたことで自分自身が大きく成長した留学期間になったと思います。

これから留学に行く人、または考えている人は心配や不安が尽きないかもしれませんが、意外と現地に行ってみれば何とかなります！留学先でどのように成長するかはあなた次第です！ぜひ楽しく心に残る留学生生活を過ごしてください😊